

臨床福祉専門学校 理学療法学科
平成 25 年度 学校関係者評価報告書

1. 議事要約

1) 学校関係者評価に関する説明

配布資料をもとに、職業実践専門課程と学校関係者評価の関連、自己点検・自己評価の実施状況、今後の学校関係者評価のスケジュール等について事務局が説明した。

2) 学校関係者評価の議事要旨

自己点検・自己評価の項目の中から3項目について意見交換を行い、以下の通り評価を行った。

① 就職サポートについて（基準4「学修成果」）

学生に対する就職支援として、他校に比べて劣るところは特段見受けられない。平素、実習生や求人に対して卒業生を受け入れている立場として、学校は密にサポートを行っているという印象である。

② 学科間交流について（基準3「教育活動」・基準5「学生支援」）

卒業生の立場として（＝下河辺委員）、学校が打ち出していた「保健・医療・福祉の連携」というワードに惹かれて入学したものの、実際には他学科との“連携”を実感する教育運営はあまりなかったとの意見が出された。

現在でも、本校は学科単位の暦で動いていることもあり、他学科との交流はほとんどないのが実情である。この点については、今後、学校行事や特別授業などの形で改善を図りたいというのが学校の方針である。

③ 入学対象者について（基準7「学生の募集と受け入れ」）

かつて本校は、メインターゲットを大卒者や社会人対象に据えて学生募集を行っていた時期があり、それが今でも継続されているのかとの質問があった。現在は、入学資格要件として大卒者に限定される言語聴覚療法学科を除いては、理学療法学科（昼・夜）及び柔道整復学科ともに高卒者にも広く門戸を開き、職業教育の機会を最大限確保していることが説明された。

2. 総括

今回の委員会では、本校が種類の異なる複数の学科を有しながらも、学科を跨いだ、いわゆる「横」の連携がないことに対して意見が寄せられたので、学校行事や合同の特別講義等を通じて他学科との交流の促進を図る取り組みを新たに設けていくことが望ましい。

具体的には、昨今のSNSにおける個人情報の取り扱いの問題に鑑み、正しいネットマナー

に関する全学科合同の特別講義を立案・実施するなどが考えられる。

本校における学校関係者評価は端緒についたばかりであり、現時点で外部委員に対して十分な情報提供・情報公開が出来ているとは言い難い。しかしながら今回の委員会では、平素学生の実習を受け入れ、指導を頂いている医療施設の役職者や本校の一期生という立場から、各委員からは具体的な提言があった。

今後は、継続的に学校関係者評価の内容を、本校の意思決定機関である拡大学科長会議にて吸い上げ、次年度の重点目標の設定や改善に積極的に活かすことが望ましい。

以上